

令和3年度（第38期）

# 事業報告書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

公益財団法人 仁泉会



<b>I</b>	<b>概況</b>	3
<b>II</b>	<b>運営施設の事業報告</b>	
1	北福島医療センター	6
2	保原中央クリニック	14
3	梁川病院	16
4	プライムケア桃花林	18
5	ほばら訪問看護ステーション・ヘルパーステーション・居宅介護支援事業所	20
6	あぶくま訪問看護ステーション・ヘルパーステーション・居宅介護支援事業所	22
7	保原指定居宅介護支援事業所	24
8	伊達市保原地域包括支援センター	25
<b>III</b>	<b>参考資料</b>	
1	法人概要	29
2	沿革	30
3	組織図	32
4	評議員・役員・会計監査人の状況	33
5	職員の状況	34



# 令和3年度公益財団法人仁泉会事業報告

## I 概況

令和3年度においても、法人全体として感染症対策に取り組みました。昨年度に引き続き「伊達地方発熱外来」の運営や新型コロナワクチンの「基本型接種施設」、県の「重点医療機関」としての医療提供体制確保のほか、北福島医療センター内に設置の福島医大・寄附講座「総合内科・臨床感染症学講座」の医師を中心として、県北地域の医療機関や施設に対する感染対策指導を積極的且つ継続的に行いました。

財務面においては、新型コロナウイルス感染症により、患者数や利用者数の減少及び業務縮小などに影響が生じましたが、事業収益の減収を補う措置を講じる一方で、関連する補助金を確保することにより、全体の当期正味財産増減額は前年度より増額となりました。法人の限られた財源の効果的且つ効率的な各事業所への配分を行うとともに「事業内容の選択と集中」について、柔軟な対応の検討を進めました。医療情勢を取り巻く社会の急激な環境の変化に伴い、経営課題が複雑化する中、引き続き持続可能な財政基盤の確立に努めてまいります。

前年度2月に発生した福島県沖地震の後、復旧作業を行うと同時に、老朽化する「梁川病院」や「保原中央クリニック」を中心とした法人施設内の今後の在り方について検討を重ねました。各施設における課題の解決を目指し、集約させ機能の強化を図るため、新たに施設を整備する必要があるとの判断に至り、新整備計画の策定作業を進めておりました。その矢先、年度末3月16日に、再び発生した地震の被害が甚大であったため、診療や手術が行えない状況が数日続き、患者様に多大なるご迷惑をお掛けしました。

新整備計画を進めることは、将来長きにわたり、地域医療を着実に担う上での基礎となる事業と位置づけ、災害に対応できる安心安全な医療機関の実現を目指して努めると共に、令和4年度においても「地域住民の健康保持並びに社会福祉の向上に貢献する」という当法人の目的の達成に向け、事業計画に基づいた各施設の適正な管理運営に寄与してまいります。

なお、令和3年度における理事会、評議員会等の開催状況は、次の通りであります。

### 1. 理事会の開催

①期 日	令和3年4月21日(水)	書面決議
議案	決議事項	第1号議案 定款の一部変更(案)について
		第2号議案 理事会運営規定の一部変更(案)について
		第3号議案 法人事務局組織規程の一部変更(案)について
		第4号議案 法人経営会議規程の制定(案)について
②期 日	令和3年6月14日(月)	書面決議
議案	決議事項	第1号議案 令和2年度(第37期)事業報告について
		第2号議案 令和2年度(第37期)決算報告について

		第3号議案	評議員の推薦について
		第4号議案	会計監査人の改選について
		第5号議案	評議員会の開催（招集）について
		第6号議案	法人施設の今後のあり方（方向性）について
	報告事項	第1号報告	評議員の辞任について
③期日	令和3年11月18日（木）	書面決議	
議案	決議事項	第1号議案	令和3年度（第38期）上半期業績報告について
④期日	令和4年3月22日（火）	書面決議	
議案	決議事項	第1号議案	北福島医療センター新整備基本構想について
		第2号議案	北福島医療センター新整備基本計画について
		第3号議案	令和4年度（第39期）事業計画（案）について
		第4号議案	令和4年度（第39期）収支予算（案）について
		第5号議案	放射線治療装置の更新について
		第6号議案	給与規程、嘱託および契約職員の就業規則の一部変更について
		第7号議案	特定費用準備資金等取扱規程について
		第8号議案	評議員会の開催（招集）（案）について
	報告事項	第1号報告	役員の退任について

## 2. 評議員会の開催

①期日	令和3年6月29日（火）	書面決議	
議案	決議事項	第1号議案	令和2年度（第37期）事業報告書承認について
		第2号議案	令和2年度（第37期）決算報告書承認について
		第3号議案	評議員の選任について
		第4号議案	会計監査人の選任について
		第5号議案	公益財団法人仁泉会定款の一部変更について
	報告事項	第1号報告	評議員の辞任について
②期日	令和4年3月29日（火）	書面決議	
議案	決議事項	第1号議案	令和4年度（第39期）事業計画（案）について
		第2号議案	令和4年度（第39期）収支予算（案）について
	報告事項	第1号報告	役員の退任について

## 3. 法人経営会議の開催

令和3年度 計4回 開催

内容 経営に関する重要事項の決定、理事会に上程すべき経営事項の検討及び決定等

①期日	令和3年5月18日（火）	議事（1）	令和3年度夏季賞与の支給について
②期日	令和3年6月8日（火）		

- 議 事 (1) 令和2年度(第37期)事業報告(案)について  
(2) 令和2年度(第37期)決算報告(案)について  
(3) 評議員の辞任及び推薦(案)について  
(4) 会計監査人の改選(案)について  
(5) 評議員会の開催(招集)(案)について  
(6) 法人施設の今後のあり方(方向性)について  
(7) その他

③期 日 令和3年11月8日(月)

- 議 事 (1) 令和3年度(第38期)上半期の業績報告について  
(2) 令和3年度昇給(案)について  
(3) 令和3年度冬季賞与(案)について  
(4) トモセラピーの更新(案)について

報告事項 (1) 旧セントクリニクの訴訟について

④期 日 令和4年3月11日(金)

- 議 事 (1) 北福島医療センター新整備基本構想について  
(2) 北福島医療センター新整備基本計画について  
(3) 令和4年度(第39期)事業計画(案)について  
(4) 令和4年度(第39期)収支予算(案)について  
(5) 放射線治療装置の更新について  
(6) 給与規程、嘱託および契約職員の就業規則の一部変更について  
(7) 特定費用準備資金等取扱規程の制定について  
(8) 理事会・評議員会の開催について  
(9) その他

## II 運営施設の事業報告

### 1 北福島医療センター

#### (1) 事業報告

令和3年度においても新型コロナウイルス感染症は収束せず、その対応に多くの時間とマンパワーを割かれた1年でした。また、3月には昨年に引き続き福島県沖地震が発生し、復旧作業を終えたばかりの施設に再び大きな被害が発生したために一部診療の制限が発生しており、当初の事業計画を達成することは困難となっています。その点を踏まえて令和3年度の事業報告をいたします。

1. 新型コロナウイルス感染症に関しては地域の中核病院として、伊達市、伊達医師会と連携して当院駐車場において発熱外来を運営するとともに、県北保健所相談センターからの紹介患者の診察やPCR検査の受け入れを行ってきました。また、福島県からの要請により新型コロナウイルス感染症重点医療機関として、新型コロナウイルス感染症患者の入院受け入れを積極的に行なっています。さらに、新型コロナウイルスワクチン接種に関しても、伊達市内の住民のワクチンの個別接種の実施や集団接種への医師派遣など、地域住民の感染対策に協力してきました。
2. 福島県立医科大学の寄附講座である総合内科・感染症科の感染症専門医のチームが新型コロナウイルス感染症患者の診療にあたってくれたことは大きな力となりました。重点医療機関としては福島県からも一定の評価を受け、地域貢献としての役割を果たしてきました。
3. 病棟運営に関しては入院医療の適正化を目指しているものの、今年度は重点医療機関として新型コロナウイルス感染症に対応する一方で、急性期病床の休床によりベッド数が減少したため、入院病床が逼迫する事態となりました。さらに、病棟のスタッフ確保のため、一部の病棟を一時的に閉鎖せざるを得ない状況になりました。これらは福島県からの要請による、新型コロナウイルス感染症患者受け入れのための臨時的な対応であり、次年度以降はアフターコロナを見据え、新たな病棟構成を検討することが必要だと考えています。
4. 新型コロナウイルス感染症による救急患者搬送数の減少、常勤医の退職や整形外科、循環器科や脳外科などの診療科がないことから救急患者の受け入れの制限はあるものの、救急指定病院として伊達地方病院輪番制を担い、救急医療委員会での検討を通して、基本的に救急患者を断らない診療体制を構築し、各診療科の連携で救急車の受け入れを行ない、救急車受け入れ率の向上を図ってきました。
5. 地域支援病院として、医療連携室の充実を図り、地域の医療・介護施設と連携しながら、MRI、CTなどの医療機器や手術室の共同利用など、引き続きオープンシステムを取り入れ、医療資源の有効利用の観点からも地域医療の中核としての役割を担ってきました。

6. 令和3年2月13日に発生した福島県沖地震による被災復旧が完了したのも束の間、令和4年3月16日に発生した福島県沖地震により、再び建物や医療機器などに大きな被害を受けました。現在、建物の修復や医療機器の修理などスピード感を持って進めて、地域住民の皆さまに安全で安心できる医療環境の回復に取り組んでおります。

以上のように新型コロナウイルス感染症対応による通常医療の圧迫や地震などの想定外の災害が起こる中、当院の役割である「地域医療」と「高度専門医療」のバランスを考慮しつつ病院運営を行なってまいりました。地域での当院の果たすべき役割を意識し、病院の健全経営を図りつつ地域に貢献し、今後も患者満足度、職員満足度の高い病院経営を目指してまいります。

## (2) 診療実績

### ①入院・外来の概要

入院概要			外来概要		
項目	令和3年度	令和2年度	項目	令和3年度	令和2年度
入院患者延数 (退院数含む)	47,560人	52,735人	患者延数	41,297人	59,745人
1日平均在院数	122人	136人	実働1日平均数 (救急外来患者含む)	168人	148人
平均在院日数	15日	14日	実働日数	295日	296日
病床稼働率%	54.2%	60.5%	外来平均単価	26,271円	24,483円
入院平均単価 (室料含む)	51,796円	47,833円			

\*病床稼働率の算出は、宿泊ドック及び退院数を除く入院患者延数で算出

### (診療科別)

(単位：人)

入院患者延べ数 (退院数含まず)			外来患者延べ数 (救外患者含む)		
項目	令和3年度	令和2年度	項目	令和3年度	令和2年度
内科	4,600	11,120	内科	1,936	2,574
血液内科	15,551	15,178	血液内科	8,452	7,789
脳神経内科	3,109	1,470	脳神経内科	132	47
消化器科・外科	5,864	6,430	消化器科・外科	7,824	7,658
乳腺科	1,777	2,244	乳腺科	9,054	9,498
循環器科	0	0	循環器科	3,171	3,089
整形外科	129	1,517	整形外科	1,512	4,138
眼科	308	337	眼科	30	19
リハビリテーション科	10,759	11,443	リハビリテーション科	2,088	2,526
放射線科	180	140	放射線科	5,108	5,269
総合内科	2,470	—	総合内科	1,108	—

人間ドック	0	42	人間ドック	16,466	16,324
発熱外来	0	0	発熱外来	444	409
その他	0	0	その他	438	405
合 計	44,747	49,921	合 計	57,763	59,745

②救急搬入患者

救急車による救急患者			その他の救急患者		
項 目	令和3年度	令和2年度	項 目	令和3年度	令和2年度
日勤帯搬入患者	485人	504人	日勤帯	1533人	756人
夜間帯搬入患者	378人	398人	夜間帯	695人	1452人
救急車台数	863台	900台			

1日平均救急外来患者数	令和3年度	令和2年度
	8.4	11.0

③手術件数

(単位：件)

診療科	令和3年度	令和2年度
消化器科	198	113 (2)
整形外科	38 (38)	72 (39)
乳腺科	147	157
眼科	312	334
合計	695 (38)	676 (41)

\* ( ) 内は手術室の共同利用の再掲

④紹介・逆紹介患者数

項 目	令和3年度	令和2年度
紹介患者数 (初診患者)	5,630人	5,442人
紹介率	66.3%	74.0%
診療情報提供書記載数	3,075枚	2,760枚
逆紹介率	79.5%	76.6%

## ⑤画像検査件数

(単位:件)

項目	令和3年度	令和2年度
MRI検査	4,287 (2,164)	5,033 (2,538)
CT検査	6,158 (908)	6,312 (802)
RI検査	89 (0)	432 (74)

\* ( )内は画像検査機器の共同利用の再掲

## ⑥放射線治療件数

(単位:件)

項目	令和3年度	令和2年度
治療計画実数	167	182

## (部位別治療延件数)

(単位:件)

項目	令和3年度	令和2年度
前立腺	1,611 (1,611)	1,461 (1,461)
骨転移	125	100 (27)
リンパ腫	221 (12)	338
乳房		19 (19)
乳房術後照射	1,181 (116)	1,416
腫瘍(骨盤)	66 (39)	127 (117)
腫瘍(腹部)	51 (7)	29 (19)
腫瘍(胸部)	15 (8)	78 (6)
腫瘍(四肢)	—	—
胸壁	—	—
合計	3,270 (1,793)	3,568 (1,649)

## ⑦輸血療法・化学療法・移植

(単位:件)

項目	令和3年度	令和2年度
輸血療法	729	719
化学療法	1,455	1,519
移植	3	1

## ⑧内視鏡検査

(単位:件)

項目	令和3年度	令和2年度
上部消化管内視鏡	4,878	4,975
下部消化管内視鏡	969	950

⑨リハビリテーション患者数

項 目		令和 3 年度		令和 2 年度	
		単位数	患者数	単位数	患者数
入院	急性期	23,826	1,548	21,245	1,493
	回復期	60,180	520	67,009	564
	地域包括※	1,997	92	10,098	448
外来		5,567	1,212	6,741	13,335

※7月より重点医療機関による病床受け入れを13床から20床としたため地域包括病床を休床。

⑩予防健診受診延べ数

(単位:人)

項 目	令和 3 年度	令和 2 年度
宿泊ドック	0	45
日帰りドック	2,571	2,509
住民検診	4,319	2,812
臓器別検診	965	2,357
その他の検診	3,701	2,842
協会けんぽ健診	3,128	3,076

(3) 施設概要

- ①所在地 〒960-0502 伊達市箱崎字東 23 番地 1  
TEL 024-551-0551 FAX 024-551-0808
- ②標榜科目 (17科) 内科 脳神経内科 血液内科 内科・リウマチ科 糖尿病・内分泌内科  
消化器内科 消化器外科 循環器内科 外科 乳腺外科 整形外科  
婦人科 眼科 リハビリテーション科 放射線科 麻酔科 歯科口腔外科
- ③開設年月日 平成 14 年 12 月 1 日
- ④院長 志賀 隆
- ⑤病床数 226 床 (一般病棟 143 床、回復期リハビリテーション病棟 55 床、  
地域包括ケア病棟 28 床)
- ⑥構造及び面積 S 造・1 階一部 RC 造 19,248.75 m<sup>2</sup>
- ⑦敷地面積 35,142 m<sup>2</sup>
- ⑧職員数 316.1 名 (常勤換算)
- ⑨施設基準等
- ・認定施設等について
  - 健康保険法指定保険医療機関 国民健康保険指定保険医療機関
  - 地域医療支援病院認定施設 DPC 対象病院
  - 臨床研修病院 (協力型) 労災保険指定医療機関
  - 地域リハビリテーション相談センター 母体保護法指定医療機関

生活保護法指定医療機関  
結核予防法指定医療機関  
救急告示病院（二次）  
原子爆弾被爆者一般疾病医療機関

海外渡航者予防接種実施機関  
日本臍帯血ネットワーク「移植医療機関登録」  
開放型病院認定  
臨床修練指定病院

・予防医学の指定

日本病院協会指定人間ドック機関  
伊達市・国見・桑折町施設検診医療機関  
労災保険二次健診等給付医療機関

全日本病院協会指定人間ドック機関  
全国健康保険協会生活習慣病予防健診実施機関  
特定健診・特定保健指導実施医療機関

・届出事項

(基本診療科)

急性期一般入院料 1  
地域包括ケア病棟入院料 2  
看護職員配置加算  
看護補助者配置加算  
療養環境加算  
無菌治療室管理加算 1  
医療安全対策加算 1  
医療安全地域連携加算 1  
医師事務作業補助体制加算 (2) 20 対 1  
せん妄ハイリスク患者ケア加算  
後発医薬品使用体制加算 I  
感染防止対策加算 1  
急性期看護補助体制加算 夜間 100 対 1

データ提出加算 2-イ  
患者サポート体制充実加算  
診療録管理体制加算 1  
回復期リハビリテーション病棟入院料 1  
体制強化加算  
重症者等療養環境特別加算  
急性期看護補助体制加算 25 対 1  
救急医療管理加算  
看護職員夜間配置加算 12 対 1 配置加算 1  
入退院支援加算 1  
入院時食事療養 (I)  
感染防止対策地域連携加算  
栄養サポートチーム加算

(特掲診療科)

開放型病院共同指導料  
がん患者リハビリテーション料  
がん治療連携指導料  
薬剤管理指導料  
医療機器安全管理料 1  
検体検査管理加算 (II)  
乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検 (併用)  
冠動脈 CT 撮影加算  
心臓 MRI 撮影加算  
乳房 MRI 撮影加算  
退院時薬剤情報管理指導料

輸血管理料 I  
輸血適正使用加算  
抗悪性腫瘍剤処方管理加算  
CT 撮影及び MRI 撮影  
医療機器安全管理料 2  
高エネルギー放射線治療  
乳がんセンチネルリンパ節加算 2 及びセンチネルリンパ節生検 (単独)  
MRI3 テスラ以上施設共同利用  
64 列以上マルチスライス CT 施設共同利用  
画像診断管理加算 2  
画像誘導放射線治療加算 (IGRT)

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算	外来化学療法加算 1
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算	在宅患者訪問看護・指導料
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算	外来リハビリテーション診療料
無菌製剤処理料	強度変調放射線治療（IMRT）
外来放射線治療加算	定位放射線治療（体幹部に対して行う場合）
人工肛門・人工膀胱造設術前処理加算	放射線治療専任加算
胃瘻造設時嚥下機能評価加算	1回線量増加加算（全乳房照射・前立腺）
64列以上マルチスライス CT 施設共同利用	がん患者指導管理料ロ
がん患者指導管理料イ	BRCA1/2 遺伝子検査
夜間休日救急搬送医学管理料の注 3 に規定する救急搬送看護体制加算 2	

・学会認定施設について

日本血液学会認定血液研修施設	日本老年医学会認定施設
日本乳癌学会認定施設	日本リハビリテーション医学会研修施設
日本整形外科学会専門医臨床研修施設	日本神経学会教育関連施設
日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ検診施設画像認定施設	日本認知症学会教育施設
日本外科学会外科専門医制度関連施設	NST 稼働施設
	薬学教育協議会薬学生実務実習受入施設

(4) DPC 係数について

基礎係数 1.0404 + 激変緩和係数 0 + 機能評価係数Ⅰ 0.2993 + 機能評価係数Ⅱ 0.0741 = 1.4138

【機能評価係数Ⅰ】 合計 0.2993

1、入院基本料 7 対 1	0.1018
2、地域医療支援病院入院診療加算	0.0307
3、臨床研修病院入院診療加算 2 協力型	0.0000
4、急性看護補助加算（25 対 1 看護補助者）	0.0556
5、急性期看護補助加算（夜間 100 対 1）	0.0253
6、医療安全体制加算 1	0.003
7、医療安全地域対策加算 1	0.0018
8、データ提出加算 2-イ	0.0053
9、提出データ評価加算	0.0000
10、検体検査管理加算Ⅱ	0.0027
11、診療録管理加算	0.0031
12、医師事務作業補助加算 1（20 対 1）	0.0249
13、後発医薬品使用体制加算 1	0.0014
14、看護職員夜間配置加算 1（12 対 1）	0.0265
15、感染防止対策加算 1	0.0137
16、感染防止対策加算地域連携加算	0.0035

【機能評価係数Ⅱ】 合計 0.0741

1、保険診療係数	0.01575
2、効率性係数	0.0114
3、複雑性係数	0.02922
4、カバー率係数	0.00498
5、救急医療係数	0.00804
6、地域医療係数	0.00474

## 2 保原中央クリニック

### (1) 事業報告

令和3年度に関しても、新型コロナウイルス感染症の対応に注力した1年でありました。診療所内でも大きな感染発症の事例なく運営する事ができました。

新型コロナウイルス関連では、特にワクチン接種業務において積極的協力を行いました。伊達市が運営する集団接種会場への医師・看護師を随時派遣した他、院内でも個別接種の会場を整備、診療時間外である土曜日の午後も活用して年度内で約2,800件のワクチン接種を実施しました。

また、当院の特色でもある総合外来診療所として近隣診療所からの紹介患者を受け入れるとともに、適切な専門診療科への誘導、必要に応じて地域包括支援センターの介入に繋げ、コロナ禍を鑑み受診が困難な患者様に対し、服薬期間の延長や電話診療を活用するなど柔軟に対応いたしました。

当院は他の開業医の先生方と連携して機能強化型の在宅支援診療所の施設基準を有しており、24時間在宅診療の体制をとっています。令和3年度は年間45件の新規受け入れと年間28件の看取り、毎月50名以上の訪問診療を実施することができました。また、福島県立医科大学が指定する研修支援センターとして、年間を通じて卒後臨床研修医及び医学生の受け入れを行っています。外来での診療や訪問診療への帯同を通じて、地域医療発展のため、後進の育成に努めました。

昨年に続き、令和4年3月16日、再び地震に見舞われました。被害箇所には応急対策を行い、診療を継続していますが、東日本大震災以来の被害の蓄積による耐震補強の検討が急務です。引き続き、感染防止対策に加え、安全対策の確認を行いながら、診療所の運営に努めてまいります。

### (2) 診療実績

#### ①外来の概要

項目	令和3年度	令和2年度
外来患者延数	69,824人	79,993人
実働1日平均数	236.8人	271.3人
実働日数	295日	295日
新患者数	372人	456人

(診療科別)

(単位:人)

項目	令和3年度	令和2年度
内科・脳神経内科	35,187	38,765
整形外科	10,061	10,584
心臓血管外科	791	772
婦人科	3,515	3,558
眼科	14,810	15,582
皮膚科	1,736	1,705
耳鼻咽喉科	3,515	3,546

リハビリテーション科		4,755
電離検診、健康診断	586	726
合 計	69,824	79,993

②訪問診療延べ数

(単位:人)

診療科	令和3年度	令和2年度
家庭医療科	1,189	1,118

③紹介患者数

(単位:人)

診療科	令和2年度	令和2年度
紹介患者数	814	814

(3) 施設概要

①所在地

〒960-0611 伊達市保原町字城ノ内 73 番地 1

TEL 024-575-3231 FAX 024-575-3233

②標榜科目

内科 脳神経内科 整形外科 心臓血管外科 皮膚科 婦人科

(8科)

眼科 耳鼻咽喉科

③開設年月日

平成14年12月1日

④管理者

院長 菊池重幸

⑤構造及び面積

鉄筋コンクリート 7,559.54 m<sup>2</sup>

⑦敷地面積

6,593.2 m<sup>2</sup>

⑧職員数

38.9名(常勤換算)

⑨施設基準等

・認定施設等について

健康保険法指定保険医療機関

国民健康保険指定保険医療機関

労災保険指定医療機関

生活保護法指定医療機関

母体保護法指定医療機関

結核予防法指定医療機関

海外渡航者予防接種実施機関

原子爆弾被爆者一般疾医療取扱機関

在宅酸素施設認定

子宮癌施設検診医療機関

・届出事項

在宅時医学総合管理料(強化型)

検体検査管理加算(I)

ニコチン依存症管理料

在宅療養支援診療所

コンタクトレンズ検査料1

在宅末期医療総合診療料

がん性疼痛緩和指導管理料

神経学的検査

夜間・早朝等加算

がん治療連携指導料

明細書発行体制加算

電子化加算

機能強化加算

地域連携診療計画退院時指導料(II)

### 3 梁川病院

#### (1) 事業報告

令和3年度は梁川病院にとって大きな変革の年となりました。

近年の老人施設の増加により、新規の申し込みが減少し、病状が重いゆえに施設に入れない方の転院ケースが増えました。そのため、いかに新規患者を獲得するか、重症度が上がった入院患者のケアについてスタッフ同士で手順の確認や勉強会を行いながら受け入れに努めました。また、新型コロナウイルスの影響が続き、外来患者数も横ばいとなりました。

初めは困難と思っていた新型コロナウイルスのワクチン接種事業は、かかりつけ患者の声や伊達市の要請の高まりもあり、可能な範囲で協力することができました。近隣の福祉施設や企業職員の要望も受け、約1300人に2回の接種を行いました。フレキシブルな対応をしたことで地域医療に貢献することができたと思います。

最大の変化は、年度途中で行った医療療養病床への変換でした。準備期間が限られる中、12月からそれまでの介護療養病床50床のうち20床を医療療養病床に転換し、医療保険での入院受け入れを開始しました。県内でも前例がなく、市や県の意向を聞くところから部署を超えたワーキンググループの立ち上げ、人事異動、施設基準やカルテ記載の確認など大変なプロジェクトとなりました。令和4年4月からの療養病棟入院料2の施設基準取得に向けて、計画を慎重に進めております。

引き続き、地域情勢の変化にも対応し、近隣の医療機関や関係者の理解を得られるよう努力しつつ、この新しい取り組みの課題を一つ一つ解決するよう努めてまいりたいと考えております。

#### (2) 診療実績

##### ①入院・外来の概要

入院概要			外来概要		
項目	令和3年度	令和2年度	項目	令和3年度	令和2年度
入院患者延数 (退院数含む)	15,406人	17,268人	外来患者延数	8,982人	9,188人
1日平均在院数	42.0人	47.2人	実働1日平均 数	30.0人	31.1人
			実働日数	297日	295日
			新患者数	65人	46人

##### ②リハビリテーション延べ件数

(単位：件)

項目		令和3年度	令和2年度
外来	運動器リハビリ(Ⅱ)	387	511
	脳血管疾患等リハビリ(Ⅲ)	0	53
	消炎鎮痛	0	0
入院	理学療法(Ⅰ)	3,706	4,562
	理学療法(Ⅰ)減算	0	34



## 4 プライムケア桃花林

### (1) 事業報告

令和3年度は引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける形となりましたが、介護老人保健施設のサービス提供を継続することができました。

新型コロナウイルス感染症に対する取り組みとしては、伊達市における高齢者施設ワクチン接種事業所として、入所者だけでなく地域高齢者に対するワクチン接種を実施してきました。また、伊達市の依頼にて居宅サービス事業所従業者に対してもワクチン接種を実施し、地域における感染対策に取り組ましました。

事業面では、昨年度から施設基準を「超強化型」へ移行しましたが、令和3年度も各算定要件を満たし、超強化型の施設基準を維持しています。医療サービスの充実を目標に取り組ましましたが、ターミナルケア加算の件数は昨年度を下回る結果となり、職員の知識や技術の向上を図ることや、看取りの受け入れを検討すること等が次年度の課題となっています。所定疾患施設療養費や重度療養管理加算の算定などの医療サービスに関しては、医師と他専門職が連携し算定を継続することができました。

### (2) 利用者実績

#### ①入所・退所の概要

入所概要			通所概要		
項目	令和3年度	令和2年度	項目	令和3年度	令和2年度
入所者延数 (退所数含む)	53,560人	53,256人	通所者延数	14,825人	16,374人
1日平均在所数	146.7人	145.9人	1日平均通所数	40.6人	44.8人
利用率%	97.8%	97.2%			
在宅復帰率%	72.52%	70.0%			

#### ②経路別入所・退所

(単位:件)

経路別入所			経路別退所		
項目	令和3年度	令和2年度	項目	令和3年度	令和2年度
家庭	2,916	2,881	家庭	2,905	2,841
医療機関	140	141	医療機関	126	132
介護施設	17	10	介護施設	46	49
			死亡(看取り)	3	10
その他	4	1	その他	4	8

③在宅復帰・在宅療養支援等の状況

	令和3年度	令和2年度
在宅復帰率	72.5%	70.0%
ベッド回転率	43.9%	40.2%
入所前後訪問指導割合	42.8%	35.4%
退所前後訪問指導割合	44.7%	35.1%
居宅サービスの実施数	2サービス	2サービス
リハビリ専門職の配置割合	7.5人	7.7人
支援相談員の配置割合	3.5人	3.9人
要介護4又は5の割合	37.7%	42.7%
喀痰吸引の実施割合	1.2%	1.5%
経管栄養の実施割合	2.5%	1.6%

④医療ケアに関する加算状況

	令和3年度	令和2年度
ターミナルケア加算	3件	10件
所定疾患施設療養費	122日	140日
重度療養管理加算	1,146日	1,060日

(3) 施設概況

- ①所在地等 〒960-0665 伊達市保原町字岡代9番地1  
TEL 024-575-0750 FAX 024-575-0962
- ②開設年月日 平成4年11月9日
- ③管理者名 施設長 石井 証
- ④定床数 入所 150名（うち認知症専門50名）  
通所 65名（4単位）
- ⑤構造及び面積 鉄筋コンクリート及び鉄骨造 5,952.26㎡
- ⑥敷地面積 17,211.97㎡
- ⑦職員数 138.2名（常勤換算）
- ⑧施設基準等
- ・認定施設
 

介護老人保健施設の指定	通所リハビリテーション事業の指定
短期入所療養介護事業の指定	生活保護法指定介護機関
リハビリテーション加算承認	

## 5 ほばら訪問看護ステーション・ヘルパーステーション・居宅介護支援事業所

### (1) 事業報告

今年度も、常に訪問看護ステーション・ヘルパーステーション・居宅介護支援事業所の3事業所間の連携を図りながら、利用者の急なプラン変更やサービス調整など、スムーズに対応することに努めました。

訪問看護は、24時間体制を継続し、在宅看取りの支援も行いました。

リハビリでは、新規依頼が多くあり、訪問件数が増加となりました。

介護部門では、昨年度から人員減となっており、訪問件数は減少していますが、訪問曜日や時間などの調整を行い、柔軟に対応することができました。

居宅部門は、コロナ禍の影響により対面での情報収集が困難な状況でありましたが、オンラインを活用し、情報共有を図りました。利用者件数は昨年度を若干ではありますが上回る実績になりました。

### (2) 利用者実績

項目	令和3年度	令和2年度
訪問看護延べ数	6,129人	6,287人
訪問リハビリ延べ数	1,693人	1,539人
訪問介護延べ数	5,584人	6,568人
居宅介護支援計画実数	849件	842件

### (3) 居宅部門利用件数

#### ①居宅介護支援計画作成者（実人数）

単位：人

介護度別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	21	20	23	23	22	23	26	26	27	28	27	28	294
要介護2	14	14	14	12	12	12	14	16	16	15	17	14	170
要介護3	12	11	9	12	14	13	13	12	15	14	19	19	163
要介護4	11	11	7	9	7	7	8	8	6	6	4	4	88
要介護5	12	13	14	12	13	12	12	10	10	9	9	8	134
合計	70	69	67	68	68	67	73	72	74	72	76	73	849

#### ②地域別（実人数）

単位：人

地域別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
伊達市保原町	62	61	60	61	60	56	62	63	65	63	66	64	743
伊達市梁川町	3	3	3	4	1	2	2	2	3	3	2	2	30
伊達市霊山町	3	3	2	1	3	6	6	4	3	3	5	4	43
伊達市旧伊達町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊達市月舘町	0	0	0	0	2	1	1	1	1	1	1	1	9

国見町	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
福島市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	70	69	67	68	68	67	73	72	74	72	76	73	849

(4) 施設概況

①所在地等 〒960-0665 伊達市保原町字岡代 10 番地 1  
TEL 024-575-2826 FAX 024-575-2830

②管理者名 所長 馬場真知子

③開設日等 ほぼら訪問看護ステーション  
開設年月日 平成 4 年 11 月 10 日  
サービス科目 訪問看護

ほぼらヘルパーステーション  
開設年月日 平成 12 年 4 月 1 日  
サービス科目 訪問介護

ほぼら訪看指定居宅介護支援事業所  
開設年月日 平成 12 年 4 月 1 日  
サービス科目 介護支援

④職員数 13.4 名 (常勤換算)

⑤施設基準等

・認定施設

ほぼら訪問看護ステーション

国民健康保険指定保険医療機関	健康保険法指定保険医療機関
指定訪問看護事業	指定老人訪問看護事業
生活保護法指定医療機関	特定疾患治療研究事業指定医療機関
原子爆弾被爆者一般疾病医療機関	24 時間対応体制
指定居宅サービス事業 (訪問看護)	指定介護予防サービス事業 (訪問看護)
遷延性意識障害治療研究事業指定医療機関	訪問リハビリ・ステーション指定機関
特定自立支援医療機関 (精神通院医療)	特定自立支援医療機関 (精神通院治療)

ほぼらヘルパーステーション

指定居宅サービス事業 (訪問介護)	指定介護予防サービス事業
生活保護法指定機関	

ほぼら訪看指定居宅介護支援事業所

指定居宅介護支援事業	生活保護法指定機関
------------	-----------

## 6 あぶくま訪問看護ステーション・ヘルパーステーション・居宅介護支援事業所

### (1) 事業報告

事業所内で情報共有を図りながら、利用者・家族の意思決定を尊重した支援に努め、状態に基づいた適切なケアを提供し、関係機関と連携しながら在宅療養の支援を行いました。

訪問看護は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、若干訪問件数が減少しました。訪問介護も件数減になっており、昨年の移転より、福島方面の件数依頼が少なくなったのが要因と思われます。居宅支援は、依頼頻度が多く、前年度より件数が上回りました。訪問看護の24時間体制は、医療処置が増えていること、在宅でのターミナル利用者は今後も見込まれることから、引き続き維持することとしております。

また、コロナ感染や災害により訪問の見合わせなどがあり、作成した業務維持継続計画に基づき対応しましたが、改善の余地を残しました。今後も感染・災害による業務維持計画の充実を図りつつ、3事業所が情報共有し、利用者やそのご家庭に満足いただけるよう支援してまいります。

### (2) 利用者実績

項目	令和3年度	令和2年度
訪問看護延べ数	7,926人	8,908人
訪問リハビリ延べ数	4,921人	5,301人
訪問介護延べ数	4,057人	4,852人
居宅介護支援計画実数	992件	982件

### (3) 居宅部門利用件数

#### ①居宅介護支援計画作成者（実人数）

単位：人

介護度別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	25	26	27	29	29	28	28	27	29	28	28	27	331
要介護2	23	22	20	22	22	23	22	22	20	21	21	24	262
要介護3	13	12	13	15	12	12	13	15	17	14	12	12	160
要介護4	11	11	11	11	11	11	11	11	10	11	12	13	134
要介護5	8	9	10	8	7	8	8	6	8	9	8	7	96
未認定	2	3	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	9
合計	82	83	83	85	81	82	82	81	85	83	81	84	992

#### ②地域別（実人数）

単位：人

地域別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
伊達市保原町	3	3	3	2	3	2	3	3	3	3	3	4	35
伊達市霊山町	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
伊達市旧伊達町	63	64	63	64	63	64	63	60	61	60	59	60	744

桑折町	4	4	5	6	5	5	5	5	5	5	6	6	61
国見町	9	10	10	10	7	8	8	9	11	11	10	10	113
福島市	3	2	2	2	2	2	2	3	4	3	2	3	30
合 計	82	83	83	85	81	82	82	81	85	83	81	84	992

(4) 施設概況

①所在地等 〒960-0684 福島県伊達市保原町上保原字大地内 39 番地 4  
TEL024-575-0001 FAX024-575-0003

②管理者名 所長 丸山悦子

③開設日等  
あぶくま訪問看護ステーション  
開設年月日 平成 8 年 5 月 1 日  
サービス科目 訪問看護  
あぶくまヘルパーステーション  
開設年月日 平成 12 年 4 月 1 日  
サービス科目 訪問介護  
あぶくま訪看指定居宅介護支援事業所  
開設年月日 平成 12 年 4 月 1 日  
サービス科目 介護支援

④職員数 19.6 名 (常勤換算)

⑤施設基準等

・認定施設

あぶくま訪問看護ステーション

国民健康保険指定保険医療機関	健康保険法指定保険医療機関
指定訪問看護事業	指定老人訪問看護事業
生活保護法指定医療機関	特定疾患治療研究事業指定医療機関
24 時間対応体制	遷延性意識障害治療研究事業指定医療機関
指定居宅サービス事業 (訪問看護)	訪問リハビリ・ステーション指定機関
指定介護予防サービス事業 (訪問看護)	特定自立支援医療機関 (精神通院医療)

あぶくまヘルパーステーション

指定居宅サービス事業 (訪問介護)	指定介護予防サービス事業
生活保護法指定機関	

あぶくま訪看指定居宅支援事業所

指定居宅介護支援事業	生活保護法指定機関
------------	-----------

## 7 保原指定居宅介護支援事業所

### (1) 事業報告

令和3年度は、改定内容の通知解釈に重点を置き、適正なケアマネジメント業務遂行に努めました。新規紹介においては、主任介護支援専門員を受付に加え、迅速な対応を行った結果、72名の受け入れができました。3月には多数の要支援認定者を紹介いただき、これまでの倍にあたる14名の支援を行い、職員の資質向上のために、オンラインによる会議や研修会を効果的に活用しました。利用者の退院退所時における情報共有の場でもオンラインの活用が増える反面、自宅開催では従来の対面方式が主なため、今後も感染予防対策の徹底に努める必要があります。

また、コロナ禍での実習生受け入れを行いました。相互の感染予防と共に従来のケアマネジメントからの工夫を伝えるなど、特定事業所加算の要件を満たすとともに、地域の人材育成の役割を果たせたと思います。

最後に、人事異動で体制整備に期間を要したため、支援件数増には及ばず業務の在り方や進め方について次年度の課題としたいと思います。

### (2) 利用者実績

(単位：件)

項目	令和3年度	令和2年度
居宅介護支援計画実数	1,934	1,933

### (3) 施設概況

- ①所在地等 〒960-0665 伊達市保原町字岡代10番地1  
TEL 024-575-0707 FAX 024-575-0606
- ②開設日 平成12年4月1日
- ③管理者名 所長 加藤京子
- ④職員数 5.0名(常勤換算)
- ⑤施設基準等 指定居宅介護支援事業  
生活保護法指定機関





### III 参 考 资 料



## 1 法人概要

- (1) 法人名 公益財団法人 仁泉会
- (2) 代表理事名 佐藤 喜一
- (3) 法人住所 〒960-0596 福島県伊達市箱崎字東 23 番地 1
- (4) 公益目的事業 医療及び介護を提供する活動、疾病予防活動及び健康増進に関する啓蒙活動を行い、地域住民の健康保持増進に寄与する事業
- (5) 開設日 昭和 59 年 4 月 1 日 (公益財団法人認定 平成 23 年 8 月 1 日)
- (6) 運営施設 北福島医療センター (地域医療支援病院)  
保原中央クリニック (外来専門)  
梁川病院 (療養型医療施設)  
プライムケア桃花林 (介護老人保健施設)  
ほばら訪問看護ステーション  
ほばらヘルパーステーション  
ほばら訪看指定居宅介護支援事業所  
あぶくま訪問看護ステーション  
あぶくまヘルパーステーション  
あぶくま訪看指定居宅介護支援事業所  
保原指定居宅介護支援事業所  
伊達市保原地域包括支援センター (伊達市より委託)  
わんぱくらんど (事業所内保育所)
- (7) 職員数 605.4 名 (令和 4 年 3 月 31 日現在 常勤換算)

## 2 沿革

昭和 30 年	12 月 15 日	伊達郡保原町字栄町に佐藤医院（12 床）開設
34 年	12 月	伊達郡保原町字古町に佐藤医院 新築移転（19 床）
41 年	2 月	伊達郡保原町字城ノ内に保原中央病院 移転 開設（40 床）
44 年	4 月	院内保育所開設
47 年	9 月	独身寮、社宅の完成（保原町字古町）
48 年	4 月	医療法人保原中央病院設立（111 床）
50 年	9 月	医療法人好仁会設立
51 年	3 月	本館増築 保原中央病院（70 床） 増築に伴い、旧保原中央病院（111 床）を保原第一病院として開設
53 年	11 月	保原中央病院、保原第一病院合併（181 床）
59 年	4 月 1 日	財団法人仁泉会医学研究所設立
	12 月 28 日	保原中央病院増改築工事完成（252 床）
61 年	4 月 1 日	総合病院認可 総合保原中央病院
	9 月 1 日	巡回診療所開設
62 年	9 月 1 日	動物実験研究棟の完成
平成 2 年	2 月 1 日	院内保育所わんぱくらんど移転 運動療法研究センター開設（旧保育所）
3 年	12 月 1 日	セントクリニック開設（19 床）
4 年	11 月 9 日	老人保健施設プライムケア桃花林開設（100 床）
	11 月 10 日	ほばら訪問看護ステーション開設
7 年	4 月 20 日	保原町在宅介護支援センター受託開始
	6 月 1 日	総合保原中央病院附属みなみクリニック開設
8 年	5 月 1 日	あぶくま訪問看護ステーション開設
10 年	4 月 13 日	老人保健施設プライムケア桃花林認知症専門棟増築（150 床）
12 年	4 月 1 日	保原指定居宅介護支援事業所開設 保原訪問看護ステーションをほばら訪問看護ステーションに改名 ほばらヘルパーステーション開設 ほばら訪看指定居宅介護支援事業所開設 あぶくまヘルパーステーション開設 あぶくま訪看指定居宅介護支援事業所開設
12 年	4 月 25 日	財団法人仁泉会医学研究所評議員会設置
14 年	12 月 1 日	北福島医療センター開設（226 床） 総合保原中央病院を閉院し、保原中央クリニック開設
15 年	5 月 1 日	みなみクリニックを閉院し、保原中央クリニックに統合
18 年	4 月 1 日	町村合併に伴い、伊達市保原地域包括支援センターとして受託開始
21 年	6 月 1 日	北福島医療センター放射線治療センター増築
23 年	8 月 1 日	公益財団法人認定 公益財団法人仁泉会となる

平成 23 年	10 月 1 日	梁川病院開設
30 年	7 月 20 日	ホームホスピスまほろば開設
令和 2 年	3 月 31 日	セントクリニック閉院
	3 月 31 日	ホームホスピスまほろば閉所
令和 3 年	12 月 1 日	梁川病院 医療療養病床に転換 (20 床)



#### 4 評議員・役員・会計監査人の状況（就任順・生年月日順）令和4年3月31日現在

##### （1）評議員（7名）

氏名	職業・職歴など
中野 新一	一般社団法人伊達医師会 会長 医療法人敬仁会なかのクリニック 理事長
庄司 光男	公立藤田総合病院 名誉院長
渡辺 艶子	公益社団法人福島明星厚生学院 福島看護専門学校 校長
佐藤 和子	有限会社佐平 取締役 チャイルドラインふくしま 監事
佐藤 敏信	元 厚生労働省健康局長 久留米大学特命教授
数又 清市	ふくしま未来農業協同組合 代表理事組合長
佐藤 直子	伊達市健康福祉部 部長兼福祉事務所長

##### （2）理事（13名）

氏名	職業・職歴など
佐藤 喜一	理事長
菊池 重幸	保原中央クリニック 院長
木村 秀夫	副理事長
今野 明	梁川病院 院長
石井 祐聖	福巖寺 住職
秋山 時夫	前公立小野町地方総合病院企業団企業長
志賀 隆	北福島医療センター 院長
佐藤 純啓	株式会社レパコ 代表取締役
花田 昂	元福島民報社 代表取締役社長
吉田 浩	北福島医療センター 名誉院長
大槻 剛智	北福島医療センター リハビリテーションセンター長
鈴木登三雄	公益財団法人仁泉会 事務局長
平野 典子	公益財団法人仁泉会 統括看護部長

##### （3）監事（2名）

氏名	職業・職歴など
芳賀 裕	ロアフォルジュ司法書士事務所 所長
大出 隆秀	大出隆秀公認会計士・税理士事務所 所長

##### （4）会計監査人（1名）

氏名	職業・職歴など
OAG 監査法人	OAG 監査法人 代表社員 今井基喜

## 5 職員の状況

### (1) 令和4年3月31日現在の在職状況（常勤換算）

職 種	人 数	職 種	人 数
医師	38.3	理学療法士	35.7
保健師	2	作業療法士	11.8
看護師	180.4	言語聴覚士	7
准看護師	29.5	マッサージ師	0.8
看護補助員	36.4	リハビリ補助員	0.8
看護系 計	248.3	歯科衛生士	0.9
介護福祉士	73.5	診療放射線技師	19
介護士	11.5	医学物理士	1
ヘルパー	1	薬剤師	7.1
介護系 計	86	薬剤補助員	2
事務員	62.1	臨床検査技師	10.4
クレーク	16.7	臨床工学技師	2
施設・環境整備員	16.9	検査補助員	1.8
事務系 計	95.7	管理栄養士	8
		栄養士	2
		調理補助員	11.8
		視能訓練士	3
		社会福祉士	6
		相談指導員	1
		保育士	5
		医療技術系 計	137.1
		合 計	605.4

### (2) 入退職者の状況（実人数）

入職者 正規職員 16名 パート職員 14名 合計 30名  
 退職者 正規職員 42名 パート職員 25名 合計 67名

### (3) 令和3年度入所式の実施

期 日 令和3年4月1日  
 場 所 北福島医療センター 講義室  
 入所者 11名（看護師5名、准看護師3名、理学療法士1名、言語聴覚士1名、介護士1名）

(4) 令和4年度新規採用予定者入職前説明会の実施

期 日 令和4年3月7日  
場 所 北福島医療センター 講義室  
参加者 新規採用予定者 13名

(5) 職員の職場環境の安定化に向けた取り組み

ストレスチェックの実施  
令和3年9月実施 回収率 96.3%

(6) 表彰等

①令和3年度春の叙勲 瑞宝双光章受章

令和3年4月29日 保原中央クリニック 診療放射線技師 平井和子

②福島県看護功労者 優良看護（永年）職員表彰

令和3年10月25日 北福島医療センター 副看護部長 藤井恵子

③福島県看護功労者 優良看護（永年）職員表彰

令和3年10月25日 北福島医療センター 看護師 佐藤まゆみ

④福島県看護功労者 優良看護補助者表彰

令和3年10月25日 梁川病院 看護助手 澤田典子

⑤福島県伊達市 伊達市振興発展に寄与した者への表彰

令和3年11月12日 理事・保原中央クリニック院長 菊池重幸

(7) 医療従事者（職員）育成のための支援活動

①奨学金の貸与

奨学生 5名（看護師5名）  
奨学金総額 3,000,000円

②新入職員オリエンテーション

令和3年4月1日～2日 11名参加







公益財団法人

仁泉会